

会 議 結 果

会議名	令和5年度第1回西尾市食育推進会議
日 時	令和5年6月22日（木）午前10時～11時30分
場 所	市役所51会議室
出席者	委員：上原正子、朝岡佐知子、齋藤英二、森原綾子、千葉奈々、市川春奈、蒲池里奈、小島周平、有川かがり、太田知宏、稲垣尚美、華尾英幸、鈴木健太、田代幸子、石川まゆみ 事務局：杉山直樹、左右田明、酒井洋子、林睦美
傍聴者	0人
議 題	1 第4次西尾市食育推進計画の概要について 2 令和4年度食育推進関係事業自己評価及び令和5年度食育推進関係事業計画について 3 その他
結果等	

1 第4次西尾市食育推進計画の概要について

【事務局説明】

平成21年3月に策定された第1次計画を基盤として平成24年3月に第2次西尾市食育推進計画、平成29年3月に第3次西尾市食育推進計画が策定された。その基本コンセプト「いただきます おうちごはんからはじめよう 食育の”Wa”！」を継承し、令和4年3月に第4次西尾市食育推進計画を策定した。計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間である。この計画は、健康な暮らしを持続できるような食育のあり方として、食の知識や望ましい食習慣を身につけ、楽しく食事することを「知ろう・学ぼう 食育の話!」「やってみよう 食育の和!」「みんなで参加しよう 食育の輪!」「まもろう 食育の環!」の4つのわをテーマとして、西尾市独自の食育を進めていくことを説明した。

【委員からの質問及び主な意見】

- ・西尾市食育キャラクターが食育プログラムに掲載されているが、保育園等でも活用しているか。
- ・給食だよりへの掲載や各園で実施している栄養教室における使用など、積極的に活用している。（関係委員）
- ・第4次計画では、西尾市食育キャラクターを知っている人の増加を目標として掲げている。このキャラクターを上手に活用し、目標の達成とともに食育に興味を持つきっかけとしてほしい。

2 令和4年度食育推進関係事業自己評価及び令和5年度食育推進関係事業計画について

【事務局説明】

令和5年度の事業計画として、健康課・学校教育課・保育課・観光文化振興課・農水振興課の一部の事業を紹介した。

【委員からの質問及び主な意見】

- ・学校給食に有機農業で生産された農産物を一校だけ、一品だけでも使用することは進められないのか。
- ・学校給食のシステム上の観点から一部のみ行う、といったことは難しいことに加え、量の確保も難しい部分がある。また、生産者の方々の生活面への配慮ももちろん必要であるため、農業経営等への影響等の把握は慎重に進めていくべきである、と考えている。（事務局説明）
- ・保育園や学校での給食の食べ残しは、どのように処分されているのか。
- ・一部の園や学校では業者が回収し、堆肥に変えているが、一般廃棄物として廃棄しているところもある。現在、そういった場所でも、食べ残しの堆肥化ができるように進めている。（関係委員）
- ・保育園では、園児を支援する保育士への食育や食の大切さをPRすることで、より園児に食について伝わりやすくなるのではないか、と思う。

3 その他

- ・今年度は、年間2回の会議を開催する。次回は、令和6年3月7日（木）を予定していることを報告した。

【まとめ】

段々共食が復活してきており、小中学校等の給食も黙食ではなく、小声でならば話しながら食べられるようになってきている。一緒に食べる人がいることで、自分自身の食を感じることができるので、子どもの頃から誰かと一緒に食べる、ということを経験することで、子どもたちは自分の食というものを身に付けることができる。保育園や幼稚園、小学校などでの給食は一緒に食べることでできるとも良い機会であるため、その環境を整える周りにいる人が同じ考えを持つことが大切であると考えます。